



週報Rotary

所沢西ロータリークラブ
RI第2570地区 第3グループ

会 長：内野 忍 副 会 長：栗原 和明
幹 事：徳江 和宏 会長エレクト：木下 精基
クラブ管理運営委員長：新井 孝敏

例会場：〒359-1145 埼玉県所沢市山口2942 掬水亭 TEL.04-2925-7111
事務局：〒359-1118 埼玉県所沢市宮本町2-22-25 角田ビル3F TEL.04-2926-1666
例会日：毎週火曜日(PM12:30～13:30) FAX.04-2926-5151
E-mail nishirc@dream.ocn.ne.jp HP <http://www.tokorozawa-nishirc.net/>

4つのテスト ①真実かどうか ②みんなに公平か ③好意と友情を深めるか ④みんなのためになるかどうか
1.点鐘…会長 2.斉唱…ロータリーソング 3.来賓紹介 4.会長・幹事報告 5.委員会報告

第 1796 回 例会 2026・6・2

ニコニコ 18,000 累計 613,000 円

卓 話	例 会 当 番	記 念 祝 福
6/2 炉辺会議 釜めし“なか”	金岡 悟	* 6月会員誕生
6/9 クラブ協議会	川島 昇	石井 秀夫 師岡 友次
6/16 エンディングパーティー	北田満亜希	
夜間例会 於：堤新亭		
6/23 例会取り消し		

■出席報告	
月 日	5/26
会員数	40
出席者	27
入会者数	0
退会者数	0

会長の時間

内野 忍



皆さんこんにちは。先週後半の肌寒さから打って変わってだいぶ汗ばむような気温になってきましたが、皆様体調のほうはいかがでしょう？

掬水亭でお話しする会長の時間も今日を含めてあと2回となりました。が、相も変わらず何を話そうか中々決められず、他のクラブの会長はどういうことを話しているのかネットで「ロータリークラブ会長の時間」と検索してみました。すると、「会長の時間は、会長がお茶の間の話題や娯楽的な話題では

なく、ロータリーに関する情報をクラブ会員の伝える時間です」と書いているクラブがあれば、私と同じでネタを探して四苦八苦して身の回りのことを話している会長もいて、クラブによってずいぶんとちがうものだなあと、朝から感心してしまいました。で、自分は会長に就任してから何を話してきたのか調べてみたのですが、だいたい時事ネタだったり、身の回りの話、たまにはロータリーについて話したりで、我ながら節操がないなと思いました。

じゃ今日は何を話そうかと思ったら、冒頭で挨拶した「汗ばむ陽気になってきた」という事で、クールビズについてほんの少しお話しさせていただきます。まず、クールビズは何時頃から始まったか皆さん覚えてますでしょうか？

調べてみたところ、2005年（平成17年）に当時の環境大臣であった小池百合子大臣が、ネクタイや上着を着用せず摂氏28度以上の室温に対応できる軽装の服装を着用するように推奨するようになったそうです。

そして、当初は6月1日から9月30日までの4か月だけの実施期間でしたが、2011年からは東日本大震災にともなう電力不足を考慮し、一か月前倒しして5月1日から実施されるようになりました。

また、2012年からはクールビズからスーパークールビズとなり、クールビズでは認められていなかったポロシャツやアロハシャツ、一部ではTシャツやジーンズも認められるようになったそうです。

所沢市役所でもポロシャツを着た職員をだいぶ見かけるようになってきて、所沢市も率先してスーパークールビズを実践していらっしゃると思いました。

あと、7月からは西武ライオンズの期間限定ユニフォームを市職員も着られるという事で、見た目も涼しげに映るのではないかと思います。

そして最後に、せっかくクールビズの話をしているのにネクタイをして、上着を着ているのも変なので、両方脱いでリラックスした気持ちで、齋藤様、大舘様の卓話を聞かせて頂こうと思います。

幹事報告

徳江 和宏

- 🌸 ガバナー月信発行日についてのお知らせ
- 🌸 2026-27年度 公式訪問要領・年度計画書提出のお願い
- 🌸 週報・・・新所沢 RC

🌸 2025-2026年度 第3グループガバナー補佐 高橋 和男様 ご挨拶



こんにちは。本日はガバナー補佐として最後の例会出席をさせていただきます。お時間をお借りし、ガバナー補佐として、ひとことお詫びと御礼を申し上げます。

今年度は、年度開始前のポリオ会長エレクトの突然の辞任、坂口ガバナーの急逝、さらに原島ガ

バナーエレクトの入院と、地区といたしましても異例の事態が続きました。

その中で、各クラブの皆さまには大変ご心配やご負担をおかけしたことを地区役員としてお詫び申し上げます。しかしながら、そのような状況にもかかわらず、各クラブが真摯に活動を継続してくださったおかげで、地区としても前に進むことができました。心より感謝申し上げます。私自身、力不足で十分にお役に立てたかは反省ばかりですが、皆さまに支えていただきなんとか一年間を務めることができました。本当にありがとうございました。

本日は、次年度第3 グループ 東ガバナー補佐 野藤 修三氏とご一緒にお伺いしております。次年度につきましても、どうぞ引き続き温かいご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。また次年度より第3 グループは東西に分かれますが、これまで培ってきた「一体感」を大切にしながら、今後も時には東西で交流を図り、クラブ活性化、そして「魅力ある強いクラブづくり」につながることを願っております。一年間本当にありがとうございました。

🌸 2026-27年 第3グループ東ガバナー補佐 野藤 修三様 ご挨拶



所沢西ロータリークラブの皆様、先日のメーキャップではお世話になりました。

2026～2027年度 第3グループ東のガバナー補佐を務めさせて頂く事になりました所沢東ロータリークラブ所属の野藤修三です。

この1年間、貴重な体験をする機会を与えられた事に深く感謝すると共に、精一杯原島ガバナーの下で更にロータリーを学び、所沢4クラブのお力になれば幸いです。

皆様と共に社会に貢献できるよう努めたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

🎵 🎵 今日のツグリーダー 🎵 🎵



🌸 親睦委員 岡川 拓之さん

ニコニコボックス

内田 学

内野 忍 齋藤様 大館様 本日は中核都市の卓話 楽しみにしております。宜しく御願います。

徳江 和宏 齋藤様 大館様 本日は宜しく御願います。野藤様 所沢西 RC へようこそ。

須澤 一男 本日はお忙しい中、齋藤様 大館さん卓話に来て有難うございます。宜しく御願致します。

鈴木 真澄 本日のお客様 野藤 修三様 齋藤 伸宏様 大館 徹様 卓話 楽しみにしております。

内田 学 齋藤様 大館様 宜しく御願います。野藤様 次年度宜しく。

大館 信夫 市役所企画の皆様 本日の卓話 宜しく御願います。

木下 精基 本日の卓話 宜しく御願います。

宮崎 光正 前回欠席しました。

卓話 「2030年中核市移行を目指して」 所沢市役所

経営企画部 経営企画担当参事 齋藤 伸宏様

経営企画部 経営企画課 中核市推進室長

大館 徹様



🌸 齋藤 伸宏様

🌸 大館 徹様

🌸 講師紹介 プログラム委員長 金岡 悟

本日の卓話は、所沢市役所 経営企画部 齋藤 伸宏様 大館 徹様です。

どうぞ宜しく御願申し上げます。



所沢市は、2030年4月1日から中核市として新たにスタートを切り、もっと可能性が広がるまちになることを目指し、中核市移行の準備を進めています。

まず初めに、中核市の概要についてご説明いたします。

中核市は、地方自治法により定められた政令で指定する人口20万人以上の都市のことであり、人口

規模や行政能力に応じた都市の事務権限を強化し、市民への行政サービスを向上するための都市制度です。

制度の趣旨は、市の権限を強化し、できる限り住民の身近なところで行政を行う地方自治の理念を実現することです。

中核市は、全国で 62 市あり、埼玉県内では、川越市、越谷市、川口市が中核市へ移行しています。人口 30 万人以上の都市で中核市に移行していない市は、所沢市を含め全国に 7 市ありますが、市域に保健所がない市は、所沢市のみとなっています。また、7 市の内、所沢市と市川市が移行を表明しており、目標年度を定めているのは所沢市のみとなっています。

中核市へ移行しますと、県から 2,000 を超える事務権限が移譲され、保健所設置による保健衛生分野、産業廃棄物などの環境分野のほか、福祉分野、街づくり分野、文教分野において市が直接提供できる市民サービスが拡充されます。

続いて、移行を目指す背景です。所沢市は、平成 14 年 4 月に特例市になり、法令上の一定の権限と埼玉県の特例条例による権限移譲を積極的に受け入れ、市民サービスの向上を図ってきました。

平成 22 年度には、プロジェクトチームを立ち上げ、中核市への移行について検討を行いました。当時の財政状況などを総合的に勘案し、移行については継続的な課題として研究していくこととしました。しかし、今日の社会状況は、新型コロナウイルスによるパンデミックや自然災害の激甚化、人口減少社会の進展など、大きな変化にさらされています。市民の皆様のニーズは、今後ますます多様化・高度化していくことが想定されます。

そのニーズに迅速に対応していくためには、さらなる事務権限の拡大、高い自主性を備えた都市への発展、つまりは、国や県ではなく、市が自ら判断して実施できる範囲を広げる必要があります。そのための手段が、中核市への移行であると考えています。中核市への移行を目指すことについては、令和 7 年 3 月に策定した「第 6 次所沢市総合計画後期基本計画」に、まちの未来に向けた取組の一つとして位置付けているところです。

中核市への移行は、市民の皆様の可能性がより広

がっていき、市がさらに発展・成長していくための契機であり、手段です。そのため、3つの目的を定めています。

1 「もっと暮らしやすいまちへ」

事務権限を拡充し、自らの判断と責任のもと、よりきめ細やかな行政サービスを提供し、さらに暮らしやすいまちを目指します。

2 「もっと自主性のあるまちへ」

多くの事務が県から移譲されるため、市の判断で実施できる事務の範囲が広がり、市独自の取組を一層推進し、より自主性を備えたまちを目指します。

3 「もっと魅力あるまちへ」

所沢市のイメージアップを図り、都市としての価値を高め、市民の皆様が誇れる、また多くの方から選ばれる魅力あるまちを目指します。

この3つを中核市移行の目的に定め、中核市移行に向けた準備を進めています。

次に、中核市移行の効果についてご説明いたします。

1 市民サービスの充実

様々な届出の受理や認可など、市民生活に密着した多くのサービスを市が直接提供することによって、より柔軟で、きめ細やかな市民サービスの提供が可能となります。

具体的には、保育所や障害福祉サービス事業者、介護サービス事業者などの許認可や指導監査を、地域の実情を最も把握しやすい市が行うことで、地域のニーズに即したサービスの充実を図ることができます。

2 行政サービスの迅速化

これまで市の窓口で申請を受け付け、県が審査・決定を行っていた事務を市が一括して行うことにより、事務処理の迅速化・効率化を図ることができます。

具体的には、身体障害者手帳の交付事務において、他の中核市の事例では、申請から交付までの処理期間が2か月程度から1か月程度に短縮されるなど、市民の皆様の利便性が向上します。

3 保健所設置による総合的な保健衛生サービス
市が行っている健康相談、予防接種、各種検診などのサービスと、保健所の専門的な機能を一体的に運営することで、より質の高い、総合的な保健衛生サービスの提供が可能となります。コロナ禍のような、

市民の皆様の生命や健康に重大な被害を及ぼす健康危機が発生した場合、埼玉県判断に基づき対応していたものが、市が直接、情報収集し、自ら調査、指導、措置などができるようになるため、迅速な対応ができるようになります。

4 特色あるまちづくりの推進

現在、県が行っている様々な事務の権限が委譲されることで、地域の実情を踏まえ、市独自の行政運営が可能となります。

小中学校の教職員研修や民生委員・児童委員に対する研修を市が実施できるようになるため、地域の課題を踏まえて独自に工夫した内容とするなど、様々な分野にわたり、地域特性を生かした特色あるまちづくりを展開できるようになります。

5 都市間連携の充実

中核市市長会は、共通課題の調査・研究や国などへの共同での提言・要請、災害時の相互支援など、様々な面で都市間の連携を図っていますので、中核市同士のつながりが構築され、都市間連携が充実します。

最後に、中核市移行に向けた課題についてご説明いたします。

1 人材確保・育成

保健所の職員となる医師・薬剤師・獣医師・保健師をはじめとした職員の確保、また、移行後にスムーズな行政サービスを提供するための職員の育成が必要です。

2 保健所の設置

中核市は、保健所が必置となりますが、その建設費は、市の負担となります。負担を軽減するため、市の土地であり、更地である生涯学習推進センターグラウンドを建設地として選定し、整備を進めています。

3 経費・財源の精査

地方交付税の増額と人件費・県単独事務の処理経費など、歳入と歳出の慎重な精査が必要ですが、市民や事業者の皆様の税金が増えることはありません。

4 市民への周知

中核市への移行は、市民や事業者の皆様のさらなる可能性を広げるための1つの手段でありますことから、市民・事業者の皆様にご理解いただく必要が

あります。

所沢市は、市政施行80周年を迎える2030年4月に中核市移行することにより、これまで以上に市民・事業者の皆様により質の高い行政サービスを提供したいと考えております。もっと可能性が広がるまちの実現に向けて、着実に取組を進めてまいります。所沢西ロータリークラブの会員の皆様におかれましては、何卒ご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。



インジェクション スピーチ

(株) 小松屋管器 代表取締役
小山 伸之介様



皆様、ただいまご紹介いただきました今年より所沢西ロータリークラブへ入会させて頂くことになりました小山と申します。

日はイニシエーションということですので、少しお時間を頂戴致しまして私の自己紹介をさせて頂きたいと思います。

途中、お聞き苦しい点もあるかとは思いますが最後まで温かい目で見守っていただけたら幸いです。どうぞ宜しくお願いいたします。

改めまして、私 小山 伸之介と申します。
1980 年昭和 55 年生まれの現在 45 歳になります。
生まれは所沢市の西所沢というところでございます。

現在は（株）小松屋管器 という水道工事店を営んでおります。

今回、このような機会を内野会長より頂きましたので、私も自分の家のことはお恥ずかしながらザックリとしか知っておりませんでしたので

これをいい機会に会社の歴史を父、母、叔父、叔母よりお話を聞くことが出来ました。

水道工事店を始める前は今現在、会社がある場所で蚕を育て繭を作る養蚕業を営んでいたそうです。

今の会社、小松屋管器としての創業は昭和 38 年、私の祖父が始めまして 2020 年令和 2 年に先代である父が脳梗塞で倒れ、その翌年 2021 年に、私が会社を引き継ぐ形となり、現在に至ります。

ここ所沢西ロータリーにもいらっしゃいます中さんを始め木下さん宮崎さんには我々、指定工事店が集う所沢市管工事業協同組合というのが御座いまして、そちらの方でも先輩方には大変お世話になっております。

管工事組合の活動と致しましては、2024 年の能登半島による災害復旧支援として所沢市水道局の方同伴の元 6 名 3 班で石川県輪島町へ水道管の復旧作業へ行っていました。

その際には当時、組合の理事長でもありました木下さんが激励に来て頂いたのもいまでも鮮明に記憶に残っております。

私の会社の主な仕事の内容としましては、学校の改修工事や修繕、水道管の入替工事などの公共事業。戸建住宅の新築工事や水廻り全般のリフォ

ーム、蛇口の細かなパッキン修理などトイレの不具合などの水廻り全般を請け負っております。

お仕事以外のことをお話させて頂きますと、私は父の影響もあり幼少期より祭礼行事とは隣り合わせの生活で御座いました。

その中でもお神輿は今でも続けており、先日行われた浅草・三社祭を皮切りに様々な場所へ担ぎに行っております。

私の住んでいる場所の西所沢は上新井にある六所神社という所の氏子で御座いまして、毎年 10 月に行われる、ところさわまつりには、その六所神社のタスキを掛けて私共が渡御しておりますので、お立ち寄りの際にはお声がけ頂いたら幸いです。

所沢西ロータリークラブに入らせて頂いてまだ日が浅いのですが、その中でも様々な経験をさせて頂いております。

2 月 25 日に行われました【IM】 3 月には金岡さんを中心としたフードパントリーに参加させて頂きまして、普段なかなか経験が出来ないことをここ所沢西ロータリークラブの入会を機に色々と勉強させて頂いております。

また引き続き多分野にわたる経験や様々な方々への出会いなどを大切にし今後のかけがえのない財産になるよう努力してまいります。

最後になりましたが、これからも内野会長を始め、所沢西ロータリークラブの皆様にはご迷惑をおかけしてしまう事も多々あるかとは思いますが一生懸命頑張ってお参りますのでどうぞ宜しくお願いいたします。